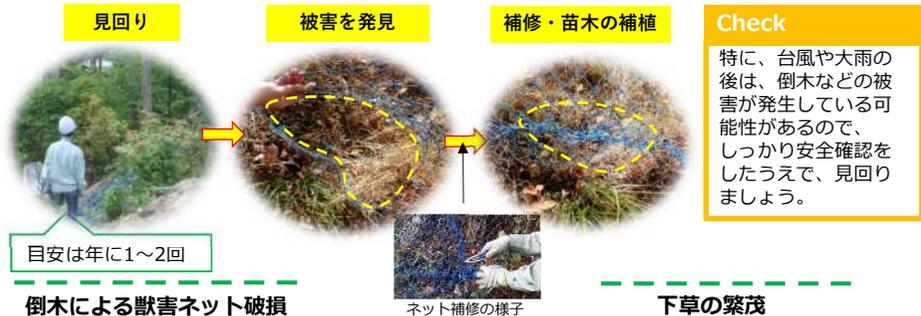


施業後の保育管理について

苗木を守り育てていくためには、獣害ネットの管理や下草刈りは欠かせません。定期的に施業地の見回りが大切です。

施業地巡回の流れ



倒木による獣害ネット破損



壊れた場所から侵入！



樹皮剥ぎによる苗木枯れ



苗木の食害

下草の繁茂



苗木の生育不良

様々な獣害ネットの破損事例が確認されています。



動物の噛み切りによるやぶれ



裾の浮き上がり



シカの角絡み

- まとめ**
- ・ ネットを張って植栽すれば、確実に成林するわけではありません。
 - ・ 再造林後も山の様子に注意して、適切な保育を行うことが重要です。
 - ・ 自力での対処が難しい場合は施業した事業者や森林組合へ相談しましょう。

循環型林業のご案内



循環型林業について

愛知県は、県土の4割が森林です。その豊富な森林資源を持続的に活用していくため「伐る・使う→植える→育てる」という森林資源を循環利用する施業の推進に取り組んでいます。

愛知県の主伐・再造林に対する支援策について

次世代森林育成事業

(あいち森と緑づくり事業)

スギ・ヒノキ人工林の主伐跡地において森林所有者等が行う以下の施業に対して、造林事業標準単価に基づく定額補助を行います。

- 花粉症対策苗木の植栽（原則、コンテナ苗を使用、植栽密度1,500本/ha）
- 獣害防止柵等の設置
- 下刈り（植栽後5年目までに行う坪刈り）
- 除伐（植栽後6～10年目までに行うもの）

循環型林業推進事業

主伐時の末木枝条の集材及びそれと連携して行う植栽・獣害対策に必要な経費に対して、定額補助を行います。

- 末木枝条の集材
- 植栽
- 獣害防止柵等の設置



詳しくは、こちらまでお問い合わせください。

愛知県豊田加茂農林水産事務所
 森林整備課 普及指導グループ TEL：0565-62-0501
 林務課 林政・緑化グループ TEL：0565-32-7369

循環型林業の収支モデル

(※実施パターン1)



【モデルケース（普通林）】

主伐・植栽面積：1.00ha 搬出材積：450m³ 獣害防止柵設置延長：500m
 少花粉スギ（あいちニコ杉）コンテナ苗を1,500本植栽

素材生産～植栽・獣害対策 にかかると費用

素材生産費	4,275千円
木材運搬費	1,035千円
苗木代	406千円
獣害対策資材費	704千円
植栽・獣害対策人件費	579千円
費用合計 ①	6,999千円

収益

木材販売収入	5,850千円
収益合計 ②	7,539千円

次世代森林育成事業補助金
1,689千円

所有者還元額 (② - ①) 540千円

保育費用

下刈【坪刈り】（例：植栽後1～5年目までの間に3回）	338千円
除伐（例：植栽後6～10年目までの間に1回）	221千円

ほぼ全額を
次世代森林育成事業
補助金で賄えます